

## 02 チャレンジする農家—農業×飲食店の新しい形 長塚文洋さんに聞く

工務店勤務時に農家の人々に触れ、種苗会社を経て祖父母の農地から農業を始めた長塚さん(野々井)。現在は農業と併せて、飲食店を2店舗経営しています。



### 子ども向けの企画で食べるきっかけを

—農産物は何種類ぐらい作っていますか

「今は野菜を中心に約40種類ぐらいで、ほぼ自分の店で使います。独立したころ子どもにホウレンソウの離乳食を作ったんですが、安いものは海外産で不安でした。子どもが口にするものなので、自分が作るものは無農薬で作るようになりました」

—子どもといえば、子ども向けのイベントを企画していますね

「収穫した野菜でピザを作ったり、去年は子ども食堂をやりました。今年も子ども食堂の延長で春に苗を自分たちで植え、秋に収穫する体験イベントを考えていました。新型コロナウイルスの影響で、春はできませんでしたが、収穫すれば秋に収穫体験をやりたいですね。自分で植えて、その場所をたまに通るときに見てもらえれば、過程も楽しめると思うんです。子どもって苦手な野菜も、

自分で収穫したものは食べたりするんです。そういうきっかけになったりするんですよ」

### 「もうかる農業の仕組み」を作りたい

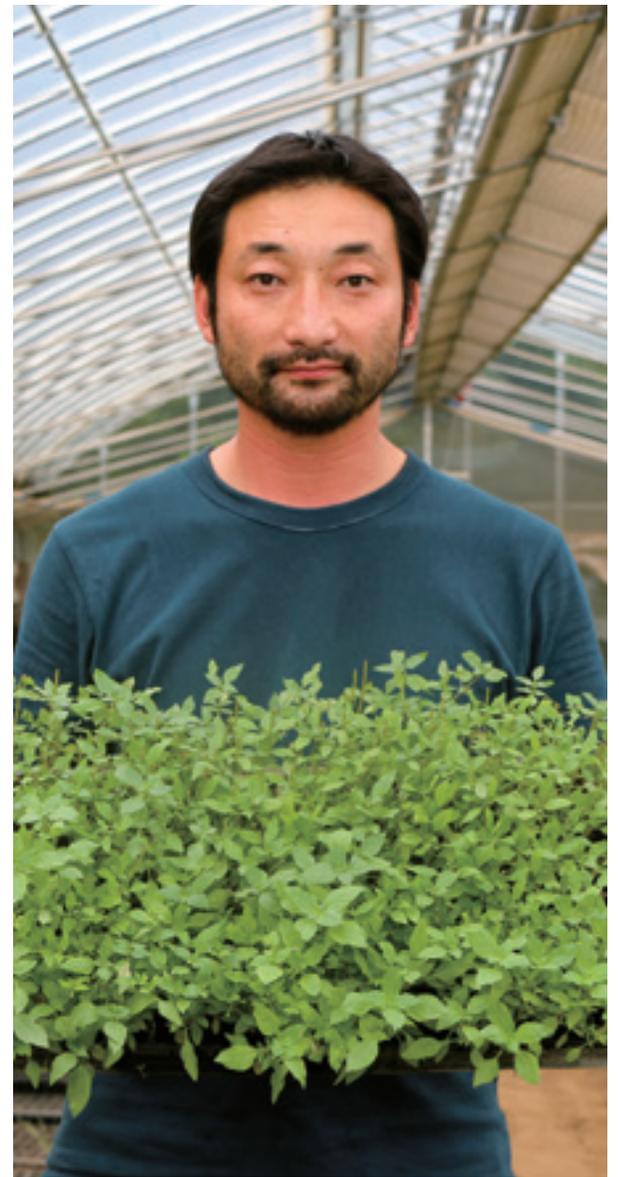
—今、力を入れているものは

「ホーリーバジルです。種から育てて、ハーブティーへの加工・販売を一貫して行っています。妻の体の不調を、自分が作るもので緩和できないかと調べたのがきっかけでした。加工次第でさまざまなものに転用できるので、他の企業とタイアップして、商品化を図りたいです」



—今後の展望はありますか

「飲食店がベースになっていますが、将来的には農業で生計を立てられる体制を整えたいです。あとは、本当にもうかる農業の仕組みを作らないといけないと感じています。仕組みができれば、若い人が取手で農業に参入するかもしれません。(ホーリーバジルは) 作るのがそこまで大変ではないので、例えば商材の一つとして、買う人は健康になって、こちらは利益が上がればいいなど。そういう商材を作ることが一つのテーマです」



## 取手の農業に触れてみる

### 直売所で地元の農産物を食べてみる



夢とりでは市内の農家が生産した採れたての農産物を中心に販売する直売所で、米・野菜・加工品などを取り扱っています。

**JA 茨城みなみ農産物直売所 夢とりで**

所在地 桑原 242-1

営業時間 9:30 ~ 18:00 (2月 ~ 10月)

9:30 ~ 17:30 (11月 ~ 1月)

定休日 水曜日・年末年始

☎ JA 茨城みなみ農産物直売所 夢とりで ☎ 84-6661

◎市内には他にも直売所があります。詳しくは市ホームページをご覧ください。



**中村 治さん**

農協直販部会夢とりで  
支部長

夢とりでは、毎日新鮮でおいしい、こだわりの農産物が並びます。来て、買って、食べてもらうことが生産農家の励みになります。

### ふれあい農園で農業にチャレンジ!

農業体験を通じた地域コミュニケーションの活性化やレクリエーション活動などを目的に設置した貸し農園で、現在10カ所が開設中です。各農園に空き区画がある場合は、随時募集しています。

電話・メールで空き区画の案内から申し込みまでできるので、まずは農政課へお問い合わせください。

各農園の詳細情報は、市ホームページで紹介中!



### 本格的に農業を始めたい方は…

「農業を始めたいけど、どうしたら…」そんな方へ、農政課では相談を受け付けています。栽培技術や国や県の融資の紹介、研修講座などで、新しく農業を始める方をサポートします。

